

日本ラグビー学会第6回大会

平成25年3月23日(土)

会場 : 関西大学

第2学舎(1号館)

目 次

1. 日 程 一 覧	2
2. 大会に参加される方へのご案内	3
3. 一般演題発表者と座長へのお願い	5
4. 特別講演	7
5. シンポジウム	8
6. 一般演題発表（口演）抄録	9
7. 日本ラグビー学会第6回大会実行委員会	18
8. 平成24年度 協賛企業等一覧	19

日 程 一 覧

一般演題発表（口演） 11:00～12:00

B 会場：A502

C 会場：A503

総 会 12:15～12:45

A 会場：A501

特別講演 13:30～15:00

A 会場：A501

シンポジウム 15:15～16:45

A 会場：A501

懇 親 会 17:30～

新関西大学会館<4 階>

Circolo(チルコロ)

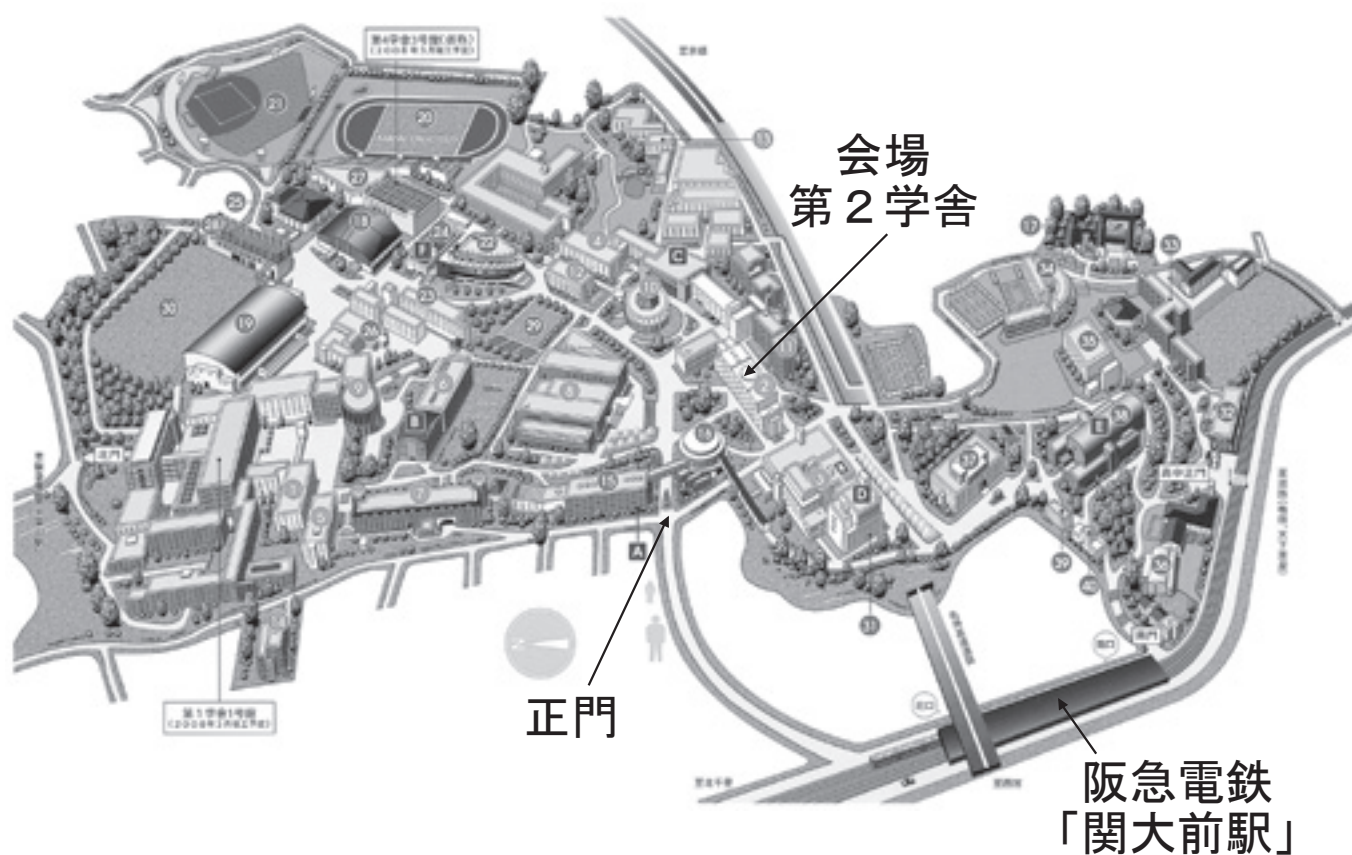
大会に参加される方へのご案内

1. 会場 : 下記「ご案内」をご覧ください。

関西大学 第2学舎 1号館

関西大学 千里山キャンパスマップ

Kansai University



■ 千里山キャンパス

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

阪急電鉄千里線「関大前」下車、徒歩約10分

2. 受付

- ① 総合受付場所：第2学舎（1号館5階）
総合受付時間：10:30 - 13:30
- ② 研究発表受付：10:30 - 11:30（発表会場）
- ③ 大会参加費等
会 員 1000 円
学 生 無 料
一 般 無 料
大会号 500 円
懇親会費 2000 円
- ④ 必ず受付で入場手続きを行ってください。
- ⑤ 学会入会手続きも、総合受付で行っております。

3. 休憩と食事

- ① 休憩所は一般演題発表終了後に5階C会場（A503）に設けます。
- ② 食事について、学内食堂は14時まで営業しております。

4. 諸注意事項

- ① 学内では係員の指示に従ってください。
- ② 会場内での携帯電話等の使用を禁じます。
- ③ 喫煙は所定の喫煙所にてお願いします。
- ④ 会場での飲食は禁止します。
- ⑤ 貴重品はお預かりしません、手荷物の管理は各自でお願いします。
- ⑥ 大会事務局では、盗難や事故について、一切の責任を負うことはできません。各自でご注意ください。

5. 連絡先

大会当日の電話等の連絡は下記にお願いします。

大会事務局 → 関西大学 第2学舎1号館内
携帯 090-1588-3311（溝畑）
090-5094-4470（灘）

一般演題発表者と座長へのお願い

研究発表並びに座長の進行は、進行表にそって、下記の通りに行います。

1. 進行表

研究発表 (B 会場:A502)		時間	11:00 - 12:00
座長	岡本 昌也		石指 宏通
11:00	ラグビー選手におけるメンタルコーチングの効果		高田 正義：愛知学院大学
11:15	京都産業大学ラグビー部員の体力推移 -3年目の検証-		淡路 靖弘：京都産業大学
11:30	7人制ラグビーのゲーム分析 -ディフェンスに着目して-		岡西 康法：大阪体育大学大学院
11:45	立位姿勢における静的および動的平衡性の分析 -ラグビースクールの子どもの対象として-		灘 英世：関西大学
研究発表 (C 会場:A503)		時間	11:00 - 11:45
座長	森 仁志		高津 浩彰
11:00	ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル レフリングコンセプト考察		鈴木 道男：どんぐりラグビークラブ
11:15	なぜ、選択ルールが生まれたのか -最古のフットボール・ルールから考える-		高木 鷹光：神戸居留地研究会
11:30	大学ラグビーの将来を考える-全国大学ラグビー選手権開催方式に着目して-		寺田 泰人：名古屋経済大学短期大学
11:45	総合型地域スポーツクラブにおけるタグラグビー教室の試み		青石 哲也：愛知学院大学

2. **発表方法** 発表は口頭で行います。
3. **進 行** 研究発表は各セッションとも座長の司会によって進行します。座長の指示を遵守してください。
4. **発表時間** 研究発表は、発表時間「10分」・討論「5分」の合計「15分」です。
ただし、フロアーから活発な質問等のある場合には、座長の裁量で、討論時間の調整を行ってまいります。持ち時間の終了後、速やかに次の発表者並びに座長と交替してください。時間厳守でお願いします。
5. **資料配布** 資料を配布される方は、各自で準備し、大会当日に持参のうえ、発表受付担当者に提出してください。50部を準備してください。
6. **機器使用** コンピューター(パワーポイント)で発表される方は、資料(データ)はメモリースティック等に保存して、発表「30分」前までに、発表者受付までお越しくください。
7. **発表取消** プログラムに掲載されている発表者が、不測の事情によって欠席せざるをえない事情の生じた場合には、大会事務局にできるだけ早くご連絡ください。連名発表の場合には、連名者が、大会本部の承認を得て発表を代行することができます。
8. **座長要領** 座長は、各発表会場受付で、受付を行ってください。座長は開始「20分」前までに必ず受付を済ませておいてください。座長は、発表者とも討論したり、発表者に補足説明を求めたり、フロアーからの質疑等を促したりして、研究発表の円滑な運営が進行するようにご協力をお願いします。

特別講演

『スポーツ事故・体罰・ハラスメントと法律問題』

演者：弁護士 辻口 信良 氏

(スポーツ問題研究所代表)

○プロフィール

1947年 石川県生まれ

関西大学法学部卒業

弁護士



関西大学・龍谷大学講師 (スポーツ法学)

スポーツ問題研究会代表

大阪弁護士会 スポーツエンターテインメント法実務研究会 代表世話人

日本スポーツ法学会理事

日本スポーツ仲裁機構 (JSAA) 仲裁人候補

関西石川県人会連合会副会長

元大阪弁護士会副会長

【仕事】

※家族法関係 (夫婦・親子・相続・後見)、不動産等、一般民事事件を中心に弁護士活動。

1992年、日本初のスポーツ選手代理人としてヤクルトスワローズ古田敦也選手を代理してプロ野球界に一石を投じ、その後サッカーJリーグガンバ大阪宮本恒靖選手他の代理人を務めるなど、主に選手側の立場で、スポーツ界に発信している。

スポーツ事故や、スポーツ推薦、スポーツ専門学校への訴訟など、スポーツを巡るさまざまな訴訟を手がけ、直近では柔道女子日本代表選手ら15人による全柔連・JOCへの問題提起の代理人を務めている。

共著として「スポーツの法律問題第三版」(民事法研究会)「スポーツ基本法」(成文堂)等

会場：A会場 (13:30 ~ 15:00)

シンポジウム

『ラグビースクールの未来像』

コーディネーター：村上 晃一 氏 (ラグビージャーナリスト)

【シンポジスト】

☆ 澤村 春雄 氏 (兵庫県 RS 代表)

活動方針：「生徒、保護者もラグビーを楽しみ、そして永く続けてもらう」

代表者 澤村春雄 会員 277 名 (幼年～中学生) 創設 1968 年

兵庫県ラグビー協会からラグビーの底辺拡大と子供の健全な育成を目的に要請され、設立当初は青少年の体位の低さを感じた、ドクタークラブの力強いバックアップを受けて、設立された伝統あるスクールである。卒業生は高校大学、社会人、トップリーグ等各方面で活躍しています。主に神戸製鋼灘浜グラウンド、小野浜球技場、カナディアンアカデミーで活動しています、ジャージは赤白の市松模様。



☆ 平田 健一郎 氏 (京都プログレ RFC 代表)

活動方針：「ラグビーを通じて子供から大人まで幅広い年代の
会員に健康で文化的な生活を提供する」

代表者 平田健一郎 会員 200 名 (幼年～シニア) 創設 2000 年

「PROGRES (プログレ)」とは「進化」、高校生以上のシニア (京都 A リーグ所属) と一体になって「幼児から大人まで」誰もがラグビーを楽しめるクラブを目指して、活動しています。ジャージは白に青の肩ライン。



☆ 山村 明 氏 (吹田 RS 代表)

活動方針：「スクール生が礼節正しく、また元気いっぱいの子供として育ち、

そして将来、本当に物事にくじけない心と身体を持ったスポーツマンになってもらう事」

代表者 山村 明 会員 230 名 (幼年～中学生) 創設 1978 年

吹田ラグビースクールのジャージは黄色と黒のタイガージャージで、それぞれの色の意味は 黄色 = 「希望」 黒 = 「団結」、つまり、一人一人が希望を持って前に突き進み、困難に負けず、全員が団結して壁を乗り越えてほしいという願いがジャージにこめられており、月 4 回万博少年球技場の芝の恵まれた環境で活動しています。



会 場：A 会場 (15:15 ～ 16:45)

一般演題発表

目次・抄録

B会場：A502

- B-1 ラグビー選手におけるメンタルコーチングの効果 …………… 高田 正義 …………… 10
- B-2 京都産業大学ラグビー部員の体力推移 …………… 淡路 靖弘 …………… 11
—3年目の検証—
- B-3 7人制ラグビーのゲーム分析 —ディフェンスに着目して— …… 岡西 康法 …………… 12
- B-4 立位姿勢における静的および動的平衡性の分析 …………… 灘 英世 …………… 13
—ラグビースクールの子どもを対象として—

C会場：A503

- C-1 ゴールデンオールディーズ・ワールドラグビーフェスティバル …… 鈴木 道男 …………… 14
レフリングコンセプト考察
- C-2 なぜ、選択ルールが生まれたのか …………… 高木 應光 …………… 15
—最古のフットボール・ルールから考える—
- C-3 大学ラグビーの将来を考える …………… 寺田 泰人 …………… 16
—全国大学ラグビー選手権開催方式に着目して—
- C-4 総合型地域スポーツクラブにおけるタグラグビー教室の試み …… 青石 哲也 …………… 17